

授業科目 比較社会研究 I	単位 2 単位
授業担当者 平井 京之介	授業期間 前期
授業の題目と概要 「コミュニティの人類学」 本授業では、人びとがコミュニティに参加し、そこから公共的なものが作り上げられていく過程について検討する。	
授業の内容と計画 広い意味でコミュニティと呼ばれるものには、地縁や血縁を中心とする「共同体」から、「伝統」やシンボルによって創られる「想像の共同体」としての国民国家まで多様なものが含まれるが、近年、グローバル化が進み、人びとの伝統的な価値観や生活様式が大きく揺さぶられているなかで、地域の再生を目指す町おこしや生協活動といった新しいタイプのコミュニティ、参加型あるいは運動型のコミュニティが注目されるようになっている。本授業では、近代性の制度と言説が統治の枠組みをつくりあげていくなかで、コミュニティによる統治に対する抵抗と自由の可能性について考えていきたい。 可能な限り討論を中心とする。受講者は、トピック毎に講義担当者が指定する課題文献の指定部分を、かならず該当トピックに関する講義開始以前に読了し、その要約やメモを用意して、講義での討論を行う。講義担当者は必要に応じて、討論への追加的情報提供を行い、議論が望ましい方向へ進むよう誘導する。	
使用する参考書、参考論文等 アンダーソン、B 1997 『増補想像の共同体—ナショナリズムの起源と流行』、C・キヤルホーン編『ハーバマスと公共圏』、Cohen, A. 1985 <i>The Symbolic Construction of Community</i> 、Delanty, G. 2003 <i>Community</i> 、齋藤純一 2000 『公共性』、田辺繁治 2005 「コミュニティ再考—実践と統治の視点から」『社会人類学年報』31号、他。	
成績評価基準 授業への出席、討論への参加度合い、テキストの読解力を踏まえ、総合的に判断する。	
その他の留意事項	